
持続可能な水産養殖のための種苗認証

Seedlings Council for Sustainable Aquaculture

(SCSA 認証)

審査報告書 (種苗生産・養殖場)

クライアント名
株式会社ツナドリーム五島

日付 : 2020 年 1 月 17 日

認証機関名
ビューローベリタスジャパン株式会社

目次

1. クライアントに関する情報	3
2. 審査機関に関する情報	3
3. 審査結果要旨	3
4. 全般的な所見	4
5. 推奨する今後のプロセス	7
6. 付属書	7

1. クライアントに関する情報

クライアント名	株式会社ツナドリーム五島 (契約番号 4201613)
クライアント ID	種苗生産者認証番号 BV-TD-OR-0002 養殖生産者認証番号 BV-KU-FA-0003 / BV-TD-FA-0003
所在地	長崎県五島市玉之浦町荒川字白泊 901-1
認証範囲	【メンバー】 株式会社ツナドリーム五島 【活動】 人工種苗生産、養殖 【拠点】 長崎県五島市玉之浦町荒川字白泊 901-1
認証魚種	マダイ Japanese red seabream (<i>Pagrus major</i>) クロマグロ Pacific bluefin tuna (<i>Thunnus orientalis</i>)
会社概要	株式会社ツナドリーム五島は、長崎県五島市に所在する株式会社である。豊田通商株式会社の 100%子会社として、2010 年に設立された。 完全養殖クロマグロの種苗生産、中間育成に特化してスタートし、人工種苗の量産化、品質向上を目指し事業推進している。近畿大学との連携、豊田通商の管理手法導入により、実績を上げている。クロマグロ以外の魚種も手がける。

2. 審査機関に関する情報

審査機関名称	ビューローベリタスジャパン株式会社
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 18 番地 KRC ビル 8F
審査チーム	
(名前)	主任審査員
審査日	2019 年 4 月 9 日 (火) ~ 11 日 (木)
審査の種類	第一回年次審査

3. 審査結果要旨

審査規格	持続可能な水産養殖のための種苗認証(SCSA 認証) 原則と基準 ver.1.4
結果	
不合格	2.2.1.5 / 2.2.2.4 / 7.1.1 / 7.1.6 (すべて解除済み)
条件付合格	なし
観察事項	なし
認証単位	認証範囲参考

所有の動き	認証範囲参考
CoC への接続点について	種苗の販売・・・育成した種苗の販売 活魚船による納品 ヨコワの販売・・・育成した種苗を養殖したヨコワの販売 活魚船による納品 成魚の販売・・・育成した種苗を養殖した成魚の販売 締め処理後梱包して納品

4. 全般的な所見

全般的な所見	
I. 種苗生産者、養殖業者に対する原則と基準	
1. 種苗	<p>株式会社ツナドリーム五島（以降 TDG）は、近畿大学から受精卵あるいは種苗を購入し、種苗生産、養殖を行う。クロマグロは受精卵あるいは稚魚で入荷し、マダイは受精卵で入荷する。</p> <p>給餌、投薬を含む飼育情報は、システム上にある記録帳票に、魚種、水槽、漁場、生簀ごとに時系列で記録している。水槽、生簀の分割、統合、死亡魚数、水温・DO 等の観察情報も記録され、生産履歴情報が確認できた。</p>
2. 対象人工種苗飼育管理	<p>種苗生産、養殖とも、先述のように魚種、水槽、漁場、生簀ごとに管理がなされ、飼育記録が入力管理されている。水槽、生簀の分割、統合も明確に管理され、最新の情報が常に確認できる。死亡魚数を含め、尾数情報も記録されていた。</p> <p>SCSA の規格解釈説明により、以下が認められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織同等性が認められた場合、認められた拠点内孵化した稚魚は合わせて一つの管理ユニットとできる。 ・TDG と近畿大学は、SCSA により組織同等性が認められたため、両方で孵化した稚魚をあわせてひとつの管理ユニットとできる。 <p>水産用医薬品は、適切に管理された上で使用していた。水産用医薬品の購入、投薬記録も、飼育記録に全て情報が入力されていた。</p> <p>種苗育成から養殖、出荷に至るまで、ストレスや損傷を極力抑え、魚類福祉の考え方をもち適切な環境での飼育実施が継続されている。種苗生産・養殖を行う海上施設は、飼育状況をよく観察できるしくみが施され、飼育担当がよく観察し状況を把握していた。</p> <p>不明魚率はマダイ、クロマグロとも要求事項を下回り、規格に適合した管理状況を</p>

	維持していると判断できる。残存尾数のカウントを行うタイミングで、管理簿との数値の差異がある場合は記録をしている。
3. 環境配慮	<p>漁場環境は養殖に適しており、水温、DOなどの情報も記録し変化を認識できる状況が維持されていた。</p> <p>逃亡管理として、ジャンプネットや天井網の設置、潜水土による網破れの確認がなされていた。</p> <p>陸上種苗生産施設と海上での種苗生産ならびに養殖施設があるが、陸上施設の浄化槽点検は実施されており、適切な管理がなされていた。</p> <p>海上における水質調査は、県や他事業者と連携し定期的実施されている。必要な水質情報を入手し、養殖管理がされていると判断できる。</p> <p>死亡魚は、冷凍保存の上定期的に五島漁業協同組合が回収し、適切に処理がされていた。</p>
4. 飼・餌料	<p>生物飼料、配合飼料、生餌を使用する。魚種や成長段階により判断し、飼料供給先から購入している。購入記録、給餌、栄養剤等の使用記録は、記録されていた。</p> <p>給餌改善目標を設定し、担当者に情報伝達がなされていた。</p>
5. 食品安全	<p>海上施設の水質管理は、日々の計測で変化を確認し記録していた。水質の向上のため、海藻・二枚貝の育成も行っている。</p> <p>出荷時の取り扱いでも、短時間で処理や劣化させないための方法を取り入れ、衛生面を意識した運用が継続されていた。</p>
6. 安全衛生・労務管理	<p>安全については、豊田通商の管理基準をツナドリーム五島でも導入しており、安全活動計画に基づき実施、管理がなされていた。豊田通商の監査も受けており、安全面において適切に実践できていた。</p> <p>労働環境も適切に管理がなされている。児童労働、強制労働、拘束、差別などもなく、ハラスメントに対するしくみも構築されていた。</p> <p>毎日従業員全員で朝礼を実施しており、詳細事項を含む管理全体について情報共有が徹底してなされており、よいコミュニケーションがとられていた。</p>
7. 社会経済的側面	<p>法令順守の下、地域社会や利害関係者と良好な関係を維持し、養殖事業を実施している。行政や関係する事業者、地域への協力も積極的に行っている。</p> <p>SCSA 認証の社会的な意義を認識し、組織として積極的に取り組む姿勢が見られた。</p> <p>組織内での要員変更があり、SCSA の内部管理体制に一部不十分な点が見られた。手順書の改訂、教育訓練の再実施等により、正しく運用されるよう整備されたことが確認できたため、不合格は解除された。今回是正対応された点が適切に維持されているか、次回の審査で確認を行う。</p>

その他.
特になし。

5. レビュー及び認証決定プロセス

審査レポートの確認と認証決定	
クライアントレビュー	2020/1/25
ピアレビュー	2020/2/12 鈴木 幸子
パブリックコメント	2020/3/5-2020/3/11 問い合わせ 0 件
認証決定	2020/03/30 菅 佳和
認証有効期限	2023/8/16

6. 推奨する今後のプロセス

推奨する今後のプロセス	
初回審査	2018 年 4 月実施
第一回年次審査	2019 年 4 月実施
第二回年次審査	2020 年 2 月～4 月に実施
第三回年次審査	2021 年 2 月～4 月に実施
第四回年次審査	2022 年 2 月～4 月に実施
再認証審査	2023 年 2 月～4 月に実施

7. 付属書

付属書
付属書 1：原則と基準チェックリスト（チェック結果）

8. クライアントレビューフィードバック

ツナドリーム五島フィードバック
NA
【BVJ】
NA